

大樹町と台湾高雄市大樹區は 友好都市協定を締結します

同じ「大樹」の名が縁で7年前から始まった官民での相互交流を経て、この度、大樹町と台湾高雄市の大樹區は、友好都市協定の締結をすることになりました。

9月1日には、大樹町から町長、議長をはじめとする訪問団6名が大樹區を訪問し、9月20日の柏林公園まつりでは、大樹區からの訪問団をお迎えし、双方で協定締結の式典を行います。

今後は、教育、文化、産業、観光、子ども交流などの交流事業を進め、大樹町と大樹區のより一層の親善関係を築いていきます。

台湾 大樹區ってどんなところ？

Part3

今回は、台湾の4大仏教の一つである佛光山（ぶっこうざん）の寺院を紹介します。

佛光山は大樹區にある仏教寺院で、台湾南部で最大のものになります。

その昔は、竹藪が繁った荒山でしたが、星雲大師の指導のもと、1967年5月16日に山を切り開き始め、弟子達の奉仕の精神と信徒達の熱心な支持により、荒山から台湾南部最大の仏教寺院となりました。

現在では、全世界から仏教の聖地と公認されるに至っています。

佛光山には、寶藏館、大雄寶殿、地蔵殿、佛光縁美術館など、さまざまな施設や仏像がありますが、なかでも大雄寶殿は、敷地面積1800坪の広さがあり、寶殿前の成佛大道は数千坪の広さがあるそうで、殿内の中央には釈迦仏、阿弥陀仏、薬師如来の3体が並んでおり、本堂の周囲には、なんと14800体の釈迦牟尼佛聖像が並んでいるそうです。一度は見てみたいですね。



元気よくあいさつ



練習の様子を披露



握手でお別れ

夏休みを利用して、7月28日に「バレーボール少年団」11名、29日に「サッカー少年団」14名が、デイサービスセンターを訪れ、施設を利用する方々と交流しました。子どもたちは、初めに大きな声で元気よくあいさつを交わし、続けてボールを使い練習の様子を披露しました。活気ある子どもたちの動きを見て、利用者の方も少し元気になったようでした。

次に子どもたちは、職員から「タクティールケア」という優しく触れることで安心感を与えるケア方法を教わり、それぞれ早速実践していました。

背中を触られた利用者は「あったかくて気持ちいい」、子どもたちからは「緊張したけど上手くできた」との感想が聞かれました。

子どもたちが帰る時には、利用者は皆涙を浮かべて握手を求め、「頑張ってたね」と声をかけてくださいました。

訪問してくださった少年団のみなさん、ありがとうございました。



タクティールケア実践中



タクティールケア実践中

スポーツ少年団の訪問ボランティア